

受領 令和4年12月1日 10時50分

通告番号 (10) 1/3

令和4年12月1日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
與那覇 沙姫 印

一般質問通告書

第522回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 本村の住民にとって必須である人権「インクルーシブ」、「多様性・ダイバーシティ」の概念について問う。</p> <p>(1) インクルーシブとは何か。多様性・ダイバーシティとは何か。</p> <p>(2) 読谷村の歩道・公共施設・学校のトイレや設備はインクルーシブや多様性に対応できているか。または、これから整備される道路や公共施設・学校のトイレや設備を当事者のニーズ調査を行い、多様な視点で設置・建設する計画をしているのか問う。</p> <p>(3) 障がいの有無に関係なくすべての子どもたちが権利の主体となる法律「子ども基本法」が令和5年4月1日に公布されるが、読谷村ゆたさむら実行プラン（後期）にどのように取り入れ、作成しているのか。</p> <p>(4) 読谷村役場の女性管理職の比率を部長、課長、係長それぞれで求める。</p> <p>(5) 本村の男性育児休業（正規・会計年度任用職員も含め）規則内容を求める。</p> <p>(6) 読谷村職員（正規も会計年度任用職員も含め）の男性職員数と、男性職員の正規と非正規別の育児休業取得率を求める。</p>	
<p>2 制度上の課題である5歳児問題の背景を問う。</p> <p>(1) 12月現在の待機児童数を年齢別に求める。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(2) 「隠れ待機児童」と言われている「保育所に入所申込みをしておき、入所の条件を満たしているにも関わらず入所できない・していない状態にある子ども」について、年齢別に問う。</p> <p>(3) 保育所や幼稚園に通っていない就学前の子どもたち、無園児はどれだけ存在するのか年齢別に問う。</p>	
<p>3 読谷村ゆたさむら実行プラン（後期）の中における子ども子育て支援について</p> <p>(1) 子ども子育て会議、作業部会の構成状況を問う。</p> <p>(2) 作業部会と子ども子育て会議及び、それにかかる作業部会の議事録は公開されているのか。</p> <p>(3) 村立幼稚園に通う園児の1号認定数のうち、預かり保育の利用者数は。</p> <p>(4) また、村立幼稚園に通う園児の預かり保育利用者数のうち有償者と無償者の内訳は。</p> <p>(5) 村内の保育所に通う子どもたちの2号認定・3号認定数をそれぞれ求める。第2期子ども・子育て支援事業計画の読谷村のニーズアンケート調査はどのように行われているか。また、ニーズアンケートの内容はどのように作成されゆたさむらビジョンの後期実行プランへどう繋げるかを問う。</p>	
<p>4 一般質問で調査研究する・検討すると答弁した後どのように調査研究しどうなったのか。そして、検討後の内容は。また、調査研究中、検討中の場合の内容を問う。</p> <p>(1) 検討中である村立幼稚園のケータリング給食費の事務負担がどのように整理、検証できたのか。また、ケータリング給食から学校給食移行への検討はどこまで進んでいるか検討内容を問う。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(2) 9月議会での給食費無償化署名について、学校給食法の法律に基づき対応を行うとのことだったが、直接請求制度の法律に基づく、署名活動では50分の1以上の有権者の署名により法令の改正や制定を求めることができる。また、4年前の9月議会では山城正輝議員が無償化への調査研究を一般質問で取り上げた際、当局は情報収集・調査研究に努めると答弁。この4年間どのような調査研究を行ったかを伺う。</p> <p>(3) 給食費無償化など村独自の政策を村民が心から願っているように、戦争による物価高騰、増え続ける税金、2023年4月からは電気料金が39.3%増。これからどうやって財政を使うのか問い直し、村民にとってこれから何が必要かを本気で考え、優先順位をつけて村づくりや独自の政策を行う必要があると考えるが、村民の暮らしを読谷村ゆたさむら実行プラン(後期)にどのようにニーズを反映させるのかを伺う。</p>	